	工業高等		開講年度 令和02年度 (		受業科目	工業英語	
科目基础		(31 3 3 1)	17351712 1716-172				
<u>17口坐1</u> 科目番号		0265		科目区分	専門/選択	?	
77日日 <u>7</u> 授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位:		
開設学科		環境都市		対象学年	4	1	
開設期		前期	>	週時間数	2		
<del>加取利</del> 教科書/教	 ∀*≯	配布プリ	17.K	泛列的数	2		
23 23 23 34 35 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36 36	נאוא	Anthon					
到達目		Anthon	у Періа				
1.建設分 2.建設分 3.建設分	野で使用され野の英語論は野の簡単ない	文を読解でき 英単語や英戈	語について理解できる。 きる。 文を書くことができる。 シを行うことができる。				
ルーブ	リック						
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの	 )目安	未到達レベル	 の目安
評価項目1			建設分野で使用される英語技術用 語について適格に理解して、翻訳 できる	建設分野で使用される英語技術用語について理解して、翻訳できる			用される英語技術用
評価項目2			建設分野の英語論文を的確に読解できる	建設分野の英語論文を読解できる		建設分野の英 い	語論文を読解できな
評価項目3			建設分野の簡単な英単語や英文を 適切に書くことができる	建設分野の簡単な英単書くことができる	建設分野の簡単な英単語や英文を 書くことができる		単な英単語や英文を きない
評価項目4			英語論文の構成を適格に理解して 、説明できる	英語論文の構成を理解 できる	英語論文の構成を理解して、説明 できる		成を理解できない
学科の	到達目標工	頁目との関	<b>月</b> 係				
	育到達度目標 環境都市(B)		習・教育目標 (HA)				
教育方法		,					
既要		1	では建設分野関連の英文を読み、テク		九、人子	上土がサラーシーにはい	の全処形ので良り。
受業の進 主意点	め方・方法	講義を基 工業英語 を海外に	ことは建設が到り関連の英文を読み、デア ま進学と就職、またその後のキャリア所 基本とし、学生は割り当てられたところ 監は技術者として社会に出た際に、海タ 一発信する際に必要となる。本講義を選 となる。本講義を選	らを和訳し、プレゼンテ-	-ションする。		
受業の進 主意点		講義を基 工業英語 を海外に	基本とし、学生は割り当てられたところ 目は技術者として社会に出た際に、海タ 三発信する際に必要となる。本講義を追	らを和訳し、プレゼンテ-	-ションする。		
受業の進 主意点		講義を基 工業英語 を海外に	基本とし、学生は割り当てられたところ 目は技術者として社会に出た際に、海タ 三発信する際に必要となる。本講義を追	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に 他じて、専門分野の英語( 週じて、専門分野の英語(	-ションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標	こり、あるいは 営的に英語を使	自ら生み出した技術 用できるようになる
受業の進 主意点		講義を基工業英語を海外にことが望	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海タ 発信する際に必要となる。本講義を選 選ましい。 授業内容	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考にして、専門分野の英語の過ごで、専門分野の英語の過ごを表現します。 建設	-ションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら	たり、あるいは 関的に英語を使 れる英語スキル	自ら生み出した技術 用できるようになる
受業の進 主意点		講義を基工業の外にことが登ります。 一番 はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はい	基本とし、学生は割り当てられたところ 目は技術者として社会に出た際に、海外 上発信する際に必要となる。本講義を選 望ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められる	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に 他で、専門分野の英語 が 週ご 英語スキル 選記 建設 して	-ションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら 、翻訳できる。	たり、あるいは 関的に英語を使 れる英語スキル	自ら生み出した技術 用できるようになる 小について的確に理解
受業の進 主意点		講義を基工業英語を海外にことが望	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海タ 発信する際に必要となる。本講義を選 選ましい。 授業内容	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に トの最新の技術を参考に 通じて、専門分野の英語( 週ご 建設 東語スキル 建設 はて 建設	-ションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら 、翻訳できる。 分野の英語論	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル ・ 文を適格に読解	自ら生み出した技術 用できるようになる について的確に理解 できる。
受業の進 主意点		講義を基工業の外にことが登ります。 一番 はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はいい はい	基本とし、学生は割り当てられたところ 目は技術者として社会に出た際に、海外 上発信する際に必要となる。本講義を選 望ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められる	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に トの最新の技術を参考に 通じて、専門分野の英語( 週ご 建設 東語スキル 建設 はて 建設	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めらい、 が野の英語論。 分野の簡単な	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル ・ 文を適格に読解	自ら生み出した技術 用できるようになる について的確に理解 できる。
受業の進 注意点		講義を基 工業外に ことが望 週 1週 2週	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 一発信する際に必要となる。本講義を選 建ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められるを 講読および発表	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に 予して、専門分野の英語( 選びて、専門分野の英語( 選設) 連設して 建設 建設 建設 きる	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を	自ら生み出した技術用できるようになる 「はついて的確に理解している」
受業の進 注意点	画	講義を基 工業外に ことが 週 1週 2週 3週	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められるが 講読および発表 講読および発表	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に 予して、専門分野の英語( 選びて、専門分野の英語( 選設) 連設して 建設 建設 建設 きる	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を	自ら生み出した技術用できるようになる ルについて的確に理解 できる。 できる。 適切に書くことがで
受業の進 注意点	画	講義を基 工をよがい 週 1週 2週 3週 4週	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 書ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められる 講読および発表 講読および発表	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に トの最新の技術を参考に 重じて、専門分野の英語( 選近 英語スキル 建設 建設 建設 きる 英語	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を	自ら生み出した技術用できるようになる ルについて的確に理解 できる。 できる。 適切に書くことがで
受業の進 注意点	画	講義を基 工をことが写 週 1週 2週 3週 4週 5週	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められる 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に トの最新の技術を参考に 重じて、専門分野の英語( 選近 建設 して 建設 建設 きる 英語	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を	自ら生み出した技術用できるようになる ルについて的確に理解 できる。 できる。 適切に書くことがで
受業の進 注意点 受業計[	画	講義を基 工をごとがいる 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 書しい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められる。 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に トの最新の技術を参考に 重じて、専門分野の英語( 選近 建設 して 建設 建設 きる 英語	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を	自ら生み出した技術用できるようになる ルについて的確に理解 できる。 できる。 適切に書くことがで
受業の進 注意点 受業計[	画	講義を基 工海外に こことが 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 一発信する際に必要となる。本講義を選 ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められる登 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に 通じて、専門分野の英語( 選び 漢語スキル 建設 ときる 英語 同上	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を	自ら生み出した技術用できるようになる ルについて的確に理解 できる。 できる。 適切に書くことがで
受業の進 注意点 受業計[	画	講義を基 工をごとが 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 要ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められる登 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に 通じて、専門分野の英語( 選設) 漢語スキル 建設 建設 建設 きる 英語 同上	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を	自ら生み出した技術用できるようになる ルについて的確に理解 できる。 できる。 適切に書くことがで
受業の進 主意点 受業計[	画	講義を基 工をことが 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められるが 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読がよび発表 講読がよび発表	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に 予して、専門分野の英語( 通じて、専門分野の英語( 選設) 建設して 建設 建設 建設 きる 英語 同上 同上	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を	自ら生み出した技術用できるようになる ルについて的確に理解 できる。 できる。 適切に書くことがで
受業の進 注意点 受業計[	画 1stQ	講義を 講義業 工をこ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められるが 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読がよび発表 講読がよび発表 講読がよび発表 講読がよび発表 講読がよび発表	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に トの最新の技術を参考に 通じて、専門分野の英語の 選記 建設して 建設 建設 きる 東語 同上 同上 同上	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を	自ら生み出した技術用できるようになる ルについて的確に理解 できる。 できる。 適切に書くことがで
受業の進 注意点 受業計[	画	講義を 講義 実海外に 過 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を達 ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められるを 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読がよび発表 講読がよび発表 講読がよび発表 講読がよび発表 講読がよび発表 講読がよび発表 神間試験 講読演習 講読演習	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に トの最新の技術を参考に 通じて、専門分野の英語( 選して 建設して 建設 建設 きる 英語 同上 同上 同上	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を	自ら生み出した技術用できるようになる ルについて的確に理解 できる。 できる。 適切に書くことがで
受業の進 注意点 受業計[	画 1stQ	講義を 講義業 工をこ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められる 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読前よび発表 講読流演習 講読演習 講読演習 講読演習	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に トの最新の技術を参考に 直じて、専門分野の英語( 選定) 建設して 建設ときる 英語 同上 同上 同上 同上	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を	自ら生み出した技術用できるようになる ルについて的確に理解 できる。 できる。 適切に書くことがで
受業の進 主意点 受業計[	画 1stQ	講義を基 工をこ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 12週 13週	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 要ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められる登 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読前よび発表 講読前よび発表 講読前よび発表 講読前よび発表 講読方よび発表 講読方よび発表 講読方よび発表 講読方よび発表 講読方よび発表 講読方よび発表 講読方よび発表	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に 予して、専門分野の英語( 選して、専門分野の英語( 選して 建設して 建設して 建設 建設 きる 英語 同上 同上 同上 同上	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を	自ら生み出した技術用できるようになる ルについて的確に理解 できる。 できる。 適切に書くことがで
受業の進 注意点 受業計[	画 1stQ	講義を 講義業無外に 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 13週 14週 13週	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 妻しい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められる。 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読前よび発表 講読流演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に 予して、専門分野の英語( 選して、専門分野の英語( 選して 建設して 建設して 建設 建設 きる 英語 同上 同上 同上 同上	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を	自ら生み出した技術用できるようになる ルについて的確に理解 できる。 できる。 適切に書くことがで
受業の進注意点 受業計1	画 1stQ 2ndQ	講義 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	生本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められるが 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読流過習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に 予して、専門分野の英語( 選して、専門分野の英語( 選して 建設して 建設して 建設 建設 きる 英語 同上 同上 同上 同上	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	こり、あるいは 営的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を	自ら生み出した技術用できるようになる ルについて的確に理解 できる。 できる。 適切に書くことがで
受業の進注意点受業計に	画 1stQ 2ndQ	講業 選集 選集 1週 1週 1週 1週 1週 1週 10週 10週 11週 11	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を達 要ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められるを 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読あよび発表 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に トの最新の技術を参考に 通じて、専門分野の英語( 選と) 建設して 建設して 建設 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	たり、あるいは 前的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を 適格に理解して	自ら生み出した技術用できるようになる れてついて的確に理解できる。 は適切に書くことがで 、説明できる。
受業の進主意点受業計で	画 1stQ 2ndQ	講義 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	生本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められるが 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読流過習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に トの最新の技術を参考に 通じて、専門分野の英語( 選と) 建設して 建設して 建設 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位 一位	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	たり、あるいは 前的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を 適格に理解して	自ら生み出した技術用できるようになる ルについて的確に理解 できる。 できる。 適切に書くことがで
受業の進注意点受業計に	画 1stQ 2ndQ	講義 業業 選別 1週 2週 3週 4週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 14週 15週 14週 15週 16週 16週 17 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められるが 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 神間試験 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に活動して、専門分野の英語の 建設して、専門分野の英語の 建設して 建設 はまる 東語 同上	ーションする。 したり導入した に親しみ、日常 との到達目標 分野のでは、 分野の簡単ない。 。 論文の構成を対	こり、あるいは常的に英語を使れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を適格に理解して	自ら生み出した技術用できるようになる いについて的確に理解できる。 適切に書くことがで 、説明できる。
受業の進主意点 受業計 が対	画 1stQ 2ndQ	講業 講業 ま装 まま まま まま また の の の の の の の の の の の の の	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められるが 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 構読演習 構読演習 構読演習 構読演習 構読演習 構読演習 構読演習 構読演習 構読演習	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に トの最新の技術を参考に 通じて、専門分野の英語の 建設して 建設して 建設る ラ 同上 同上 同上 同上	ーションする。 したり導入した こ親しみ、日常 との到達目標 分野に求めら、 分野の英語論 分野の節単な。	たり、あるいは 前的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を 適格に理解して 到道	自ら生み出した技術用できるようになる について的確に理解できる。 適切に書くことがで 、説明できる。 を 適切に書くことがで ない。
受業の進き意気・受験を受験を対しています。	画 1stQ 2ndQ	講業 講業 ま装 まま まま まま また の の の の の の の の の の の の の	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を達 要ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められるを 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読演習 構造演習 様子、表述 本述、解答記明 一学習内容の到達目標 一学習内容の到達目	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に見 トの最新の技術を参考に 通じて、専門分野の英語( 選設) 建設して 建設して 建設 同上 同上 同上 同上 同上	ーションする。 したり導入した に親しみ、日常 との到達目標 分野のでは、 分野の簡単ない。 。 論文の構成を対	たり、あるいは常的に英語を使われる英語スキル。文を適格に読解英単語や英文を適格に理解して 型化 での他 0	自ら生み出した技術用できるようになる について的確に理解できる。 に適切に書くことがで 、説明できる。 を
受業の進主意点 受業計1	画 1stQ 2ndQ コアカリ= 合 試 割合 80 カ 0	講義 を 要	基本とし、学生は割り当てられたところ 語は技術者として社会に出た際に、海外 発信する際に必要となる。本講義を選 ましい。 授業内容 ガイダンス、建設分野に求められるが 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読および発表 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 講読演習 構読演習 構読演習 構読演習 構読演習 構読演習 構読演習 構読演習 構読演習 構読演習	3を和訳し、プレゼンテートの最新の技術を参考に トの最新の技術を参考に 通じて、専門分野の英語の 建設して 建設して 建設る ラ 同上 同上 同上 同上	ーションする。 したり導入した に親しみ、日常 との到達目標 分野のでは、 分野の簡単ない。 。 論文の構成を対	たり、あるいは 前的に英語を使 れる英語スキル。 文を適格に読解 英単語や英文を 適格に理解して 到道	自ら生み出した技術用できるようになる したついて的確に理解できる。 の適切に書くことがでい、説明できる。 を連びい 授業週